

第68回

大原孫三郎記念講演会

美術史と異文化交流

「移り棲む美術」から大原特別展へ

講師

大原美術館 館長 三浦 篤氏

1957年、島根県生まれ。専門は19世紀フランス絵画史と日仏美術交流史。1993年、東京大学教養学部助教授、2006年、同総合文化研究科教授、2023年、同名名誉教授。2007年「近代芸術家の表象」で第29回サントリー学芸賞芸術・文学部門受賞、2021年「移り棲む美術」で芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2015年フランス共和国芸術文化勲章シュヴァリエを受勲、2023年紫綬褒章を受章。近著は「大人のための印象派講座」。

2024年

7/26 金 18:30~20:00
(18:00開場)

倉敷公民館・大ホール

倉敷市本町2-21 【聴講無料】

(駐車場がないため、自家用車のご来場はご遠慮下さい。)

主催 | 公益財団法人 有隣会

共催 / 公益財団法人 大原芸術財団

特別展「異文化は共鳴するのか？ 大原コレクションでひらく近代への扉」大原美術館にて9月23日まで開催中!

お問い合わせ / 語らい座 大原本邸 (TEL.086-434-6277)
E-mail:info@oharahontei.jp

大原孫三郎は明治35年「倉敷日曜講演」を創設し、大正14年まで76回開催しました。昭和18年孫三郎の逝去後、総一郎に引き継がれ、敬堂会講演会となり、昭和43年、総一郎逝去後は有隣会の主要行事となりました。

さらに平成22年4月には大原孫三郎・総一郎を顕彰するため一般財団法人を設立し、平成27年4月からは「大原家代々の事業経営と社会貢献の志を守り、伝える」ことを目的に公益財団法人へ移行し、一層の事業拡充強化に努めております。

本年度は、大原美術館館長の三浦篤氏を講師にお迎えし「美術史と異文化交流―『移り棲む美術』から大原特別展へ―」と題してご講演頂きます。